

自己評価シート

たけのこの里保育園

1、園の教育目標

当学園では教育・保育理念として、『一人ひとりをみつめる保育の実現』『主体的に生きる力を育む保育の実現』『仲良しの心・思いやりの心を育てる』を掲げています。また教育目標として、本園でめざす幼児像は次の4項目になります。

- 1、丈夫な子ども
- 2、素直な子ども
- 3、進んで取り組む子ども
- 4、心豊かな子ども

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した自己評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施する事により、教職員一人ひとりが自身の保育や業務を振り返り、課題や改善点を明確にする。更に、職員間の情報共有や連携を深めると共に、主体的な学びや、計画的な業務遂行を意識しながら保育の質の向上と教育内容の充実に取り組む事を重点項目とする。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
保育課程の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針にしたがい編成している。	園の教育理念や教育方針を意識し、発達や生活の様子に応じた保育を実践すると共に、保育内容を振り返りながら改善に努めている。
教育要領、教育課程、保育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成している。	子ども一人ひとりの育ちや興味・関心を大切にし、日々の保育を考えながら作成している。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	日々の姿を継続的に把握し、発達段階や課題に応じた援助方法を考えながら保育内容の充実に繋げている。
月毎に各年限の成果と課題を報告する。	月毎の保育を振り返り、成長や課題を整理した上で職員間で共有し、次月の計画や援助方法の見直しへ繋げている。
子どもの良さを認めて評価しようとしている。	出来た喜びを受け止めながら、安心して自己表現できるよう、信頼関係を大切にしながら丁寧な言葉かけや関わりを意識している。
あそびを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	発達に応じた遊びや環境を工夫し、友達と関わりながら考えたり、思いを伝えあったりする経験を大切にしている。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行なう。	登園から降園までの一日の流れの中で、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促し、家庭との連携を図りながら、食事、睡眠、排泄を丁寧に対応している。発達やその日の体調、気持ちに寄り添いながら一人ひとりのペースを大切にしながら関わり、やってみようという意欲を育み、出来た喜びや自信に繋がるよう、援助を行っている。

教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	学園全体研修を年度の初めに行っている。園内研修を通して知識や技術を高めて、学んだ内容を日々の保育に生かしながら環境作りや関わりに繋げている。
各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	各種研修会や研究会に参加し学んだことを資料にまとめ、教職員間において提供し、共有化を図るようにしている。また、キャリアアップ研修に参加し、子どもの発達や保育への知識を深めている。
園だよりや合同研修会をとおして園の情報を発信していく。	園だよりや SNS を通して、園の活動や子どもたちの様子をわかりやすく発信する事を心掛けている。
教育・保育目標や短期経営目標と連鎖した評価項目を作成し、目標・実行・評価・改善のサイクルを確立する。	PDCA サイクルを常に念頭におき、さらに充実した保育・教育になるように努めている。課題や改善点を見直しながら実践に繋げた。職員間で情報共有を大切にしながら、よりよい保育に繋がるよう、努めた。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

理 由
自己評価を通して、一人ひとりの職員が日々の保育や業務を振り返り、自身の強みや課題について考える機会となった。又、子どもの姿を職員間で共有しながら、思いや発達に寄り添う保育の実践に努めようとしてきた。一方で、情報共有や業務の進め方については、引き続き課題も見られる為、職員同士が、声を掛け合い、互いに支え合いながら連携を深めていきたい。保護者との関わりにおいても、安心して相談できる関係作りを大切にしながら、子ども達の健やかな成長を共に見守っていけるよう、努めていく。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
情報公開の方法	令和7年度6月より、様々なシステムの一本化を図る為、コドモンを導入。 (緊急時等の園情報を提供、保護者からの欠席連絡機能、連絡帳機能、指導案作成等) 令和4年度よりホームページを一新し、園だより等のダウンロードを導入。 個人情報の観点に配慮し、保護者へのスムーズな情報共有が定着した。 保護者が知りたい情報を発信する為、写真・動画配信サービスも活用している。 今後もシステムを工夫し、保護者にとって分かり易く、便利で寄り添った情報共有の実施を検討したい。
自己点検、自己評価	自身の保育や業務の課題を明確にすると共に、職員間で気づきや学びを共有する機会を大切にしていきたい。又、一人ひとりが主体的に改善へ取り組み、保育の質の向上と円滑な園運営に繋げていく事を今後の課題とする。
指導計画の編成	子どもの姿に合わせた計画を立てている。見直しも行い、毎日を安心、笑顔で過ごす事が出来るよう努めている。